

Press Release
【報道関係各位】

2021 年 2 月吉日
ポーラ美術館

企画展「Connections－海を越える憧れ、日本とフランスの 150 年」
異文化に憧れ、「まねぶ」こと。その魅力に迫る
森村泰昌氏 オンライントーク（全 6 話）を Youtube で配信
2/12、2/19、2/26、3/5 の毎週金曜夜に順次公開予定

ポーラ美術館（神奈川県・箱根町）では、2020 年 11 月 14 日(土)から 2021 年 4 月 4 日(日)まで、企画展「Connections－海を越える憧れ、日本とフランスの 150 年」を開催中です。本展の開催を記念し、作品を出品いただいている美術家の森村泰昌氏をお招きしたオンライントーク（全 6 話）を当館公式 Youtube チャンネルで録画配信します。



「Connections 展で “まねぶ”！」

1985 年、ゴッホの自画像に扮するセルフポートレート写真を制作し、以降、今日に至るまで一貫して「自画像的作品」をテーマに作品を生み出し続ける森村氏。

Connections 展に通底する「まねぶ（＝まねをする）」ことの意味や重要性、そして森村氏自身の制作にも大きな影響を与えたゴッホや日本近代の夭折の画家たちなど、Connections 展に登場する作家についてさまざまな視点から語っていただきます。

講 師：森村泰昌 氏（美術家）

日 時：第 1 回 2 月 12 日(金)
第 2 回 2 月 19 日(金)
第 3 回 2 月 26 日(金)
第 4 回 3 月 5 日(金)

※いずれも 19 時に Youtube プレミア公開にて配信予定
(配信後にアーカイブ視聴も可能です)

視聴方法：ポーラ美術館公式 Youtube チャンネル
<https://www.youtube.com/user/polamuseum>

【番組表】

第 1 回 2 月 12 日(金)	①なぜ、ゴッホなのか？
第 2 回 2 月 19 日(金)	②黒田清輝は日本に何をもたらしたか
第 3 回 2 月 26 日(金)	③ゴッホ、セザンヌ、ルノワールを「まねる」 ④記憶の中の佐伯祐三
第 4 回 3 月 5 日(金)	⑤ゴッホのひまわり、セザンヌのりんご ⑥日本近代の「青春の自画像」

※第 3 回以降の配信予定は変更される場合があります。最新の予定は Connections 展 公式 Twitter アカウント (@connections_pm) でお知らせします。

【企画展】

Connections – 海を越える憧れ、日本とフランスの 150 年**会期：2020 年 11 月 14 日（土）～2021 年 4 月 4 日（日）**

19 世紀後半から盛んになるジャポニスムは、欧米の芸術に大きな刺激を与え、モネやゴッホなどの創作の重要なインスピレーション源となりました。時を同じくして、黒田清輝をはじめとする日本人画学生がフランスへ留学し、彼らが現地で学んだ美術はその後の近代日本美術の礎となっていました。本展は、大量のモノや情報、そして人の往来が可能となった時代に、双方の芸術が織りなした「美の往還」を、ポーラ美術館の西洋絵画および日本の洋画コレクションを軸に辿る試みです。



左) 森村泰昌《肖像(ゴッホ)》1985 年 高松市美術館
 右) フィンセント・ファン・ゴッホ《ヴィゲラ運河にかかるグレース橋》
 1888 年 ポーラ美術館

企画展特設サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/sp/connections/>

■ポーラ美術館について

2002 年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から 20 世紀にかけての西洋絵画を中心としたコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する作家たちの作品も展示し、同時代の表現へと展望を拡げている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しめる。



- ・開館時間：9:00-17:00（入館は 16:30 まで）
- ・休館日：無休（展示替えのための臨時休館あり）
- ・所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285
- ・TEL：0460-84-2111

<報道関係者お問合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当：田中

ポーラ美術館広報事務局：屋木・名取

TEL:0460-84-2111/ FAX:0460-84-3108

TEL:03-4570-3172/ FAX:03-4580-9128

Mail:polamuseum.pr@prap.co.jp